

登録コード	E5020900	開講年度	2026				
授業科目	STEAM教育概論					担当教員	茅野 公穂
英文授業名	An overview of STEAM education					副担当	村松 浩幸
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	該当
備考							
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	学校教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	教育活動を支え、実現する上で不可欠なSTEAM教育と各教科等との関連に関する専門的知識・技能
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	STEAM教育のねらいや構成などを学んだ後に、STEAM教育と各教科および情報活用能力などの関連教育について、各コースや担当教員による講義により学ぶ。オンデマンドと対面授業を組み合わせたハイブリッドの授業により、効率的かつ効果的に学習を進める。						
(5)授業計画	第1回：STEAM教育の概要および情報活用能力との関連（対面：茅野、佐藤（動画））：10月X日（火）3限・共通教育20番教室 第2回：STEMA教育とサイエンスコミュニケーション（対面：五十嵐・村松）：10月Y日（火）3限・共通教育20番教室 第3回：STEAM教育と理科・数学・技術（オンデマンド）※情報機器の活用を含む 第4回：STEAM教育と家庭科・美術・音楽（オンデマンド）※情報機器の活用を含む 第5回：STEAM教育と国語・英語・社会（オンデマンド）※情報機器の活用を含む 第6回：STEAM教育と保体・野外・特別支援（オンデマンド）※情報機器の活用を含む 第7回：STEAM教育と現代教育Ⅰ・Ⅱ・心理（オンデマンド）※情報機器の活用および授業アンケート含む						
(6)成績評価の方法	・試験（30%），レポート（70%）で総合して評価。 ・試験は，講義毎にeALPS上の小テストを実施し，講義毎の評価とする ・レポートについては，講義毎に書式，内容等の評価項目を設定し，5段階でポイント化した総得点を講義毎の評価とする。						
(7)成績評価の基準	レポートに対して，①自分の意見が論理的に説明されている。②講義内容が適切に理解されている。③自分の意見が講義内容と適切に関連付けられている。④他の資料や文献も適切に参照して考察をしている。⑤他の資料や文献も参照し，より深い考察がされている。 ・①～⑤項目までができていれば「卓越している」 ・①～④項目までができていれば「かなり上にある」 ・①～③項目までができていれば「やや上にある」 ・①～②項目までができていれば「水準にある」 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	・eALPS上に事前に参考資料を提示しておく。事後学習については，適宜指示をする。 各回の授業で話題になったことについて，事後に自分で調べて考察を深めること。また，適宜小テストやレポートを課すので，授業前後の学習に努めること。 各1回の講義あたり事前・事後の学習時間は少なくとも合計4時間は確保すること。事前と事後の学習時間の配分は個々の学生の判断に任せる。						
(9)履修上の注意	・対面回の授業に出席できない場合の学修の補充については，「信州大学における学校保健安全法に基づく出席停止に関する要項」，「信州大学における授業の出席に関する要項」に基づき対応します。						
(10)質問，相談への対応及び連絡先	オフィスアワー・・・随時 連絡先・・・茅野：chinok@shinshu-u.ac.jp 村松：muramatu@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	なし						
【参考文献】	講義毎に必要なに応じて指示する 赤堀侃司（2022）. STEAM教育と俯瞰力. ジャムハウス. 1,870円						